

第77回 ヒルデガルトの植物を学ぶ会

ドイツには多くの地域で薬草園が見られます。その園内には「ヒルデガルトの植物区画」が特別に設けられている所も少なくありません。12世紀の修道女ヒルデガルト・フォン・ビンゲン（1098-1179）が50歳を過ぎてから執筆した『フィジカ』（自然学）では薬草230種、樹木63種の解説がなされ、今に生かされています。この講座ではヒルデガルトを通して植物のパワーを学び、彼女の人となりを知る手がかりになる知識を探求していきましょう。

レアでマニアックな少人数制講座

対面 or オンライン (Zoom)



第6回修道院の薬箱 泌尿器系のハーブ療法 林真一郎

寒い季節には膀胱炎や尿道炎など泌尿器系のトラブルが増加します。排尿に関連する様々なトラブルはすでに初期の修道院でも重要視されていました。泌尿器系のハーブ療法に用いるバーチやネットル、ホーステールなどについて解説します。

ヒルデガルトの植物 マロウとマーシュマロウ 豊泉真知子

ヒルデガルトはマロウを Babela と呼んでいました。「その中に穏やかな冷性を持ち、その冷性は露や空気のように朝、穏やかです。（中略）でも、いかなる人も生で食してはいけません、なぜなら粘液状で人間にとっては毒になるからです。ただ、これから成長するという時期、よく煮て、脂を加えれば、消化を促すので、胃を病んでいる人を助けます。この消化促進のために、病人はマロウを食べなさい、ただし適度に！」とフィジカに記しています。修道院医学では、温と乾の性質を持つマーシュマロウは、すでにローマ帝国期の医者、薬理学者、植物学者ディオスコリデスが記していたのと同様に、膀胱の病、結石、下痢に内服されます。驚いたことに、中世の終わりには、さらなる適応症も加わって、たとえばドイツの博物学者アダム・ロニツァーがその本草書で、咳止め薬の興味深いレシピを挙げています。それは、マーシュマロウとヒソップとトリコリスの根を、水またはワインで煮るというものでした。その他「気分を高めるハーブ類」をご紹介します。

ヒルデガルトの精神療法 No.15 魂の冷たさ一魂の救済

症状：脾臓、胃、腸のあらゆる疾患、腸内フローラの破壊とそれによって生じる胃や腸の炎症、胃潰瘍、胃ガン、大腸炎、クローン病、過敏大腸、下痢、便秘、鼓腸、悪寒、消化不良、十二指腸潰瘍、片頭痛、衰弱、疲弊
精神療法：節食療法、癒しの祈り、夜勤の仕事、病人や貧しい人のための奉仕活動

スピリチュアルな癒し

精神的な故郷とのつながりを断ったせいで活気を失い、脱力してしまう時があります。そうすると人間のエネルギーの限界を感じ、疲弊してすっかりやる気を失ってしまいます。その結果、体の免疫系も無力になります。エネルギー不足は多くの自己免疫疾患を引き起こします。これに急ブレーキをかけて懸命に魂の中を見つめ、宇宙の力を再発見してください。

宝石療法：エメラルド

緑のエメラルドは生命力の化身。あらゆる衰弱と病気に対して力を与えてくれます。あなたの中に蓄えられていた生命エネルギーが空になっても、エメラルドが満たしてくれます。エネルギーは常に宇宙全体を流れているからです。エメラルドの指輪がネックレスを身につけましょう。この石は魂のあらゆる衰弱状態に対してとても大きな力を発揮します。

講座日程・場所

6月7日（金）

ソフィアフィットセラピーカレッジ

（東京・自由が丘）または
オンライン・Zoom 講座

講座概要

● 受講料 税込 ¥3,850-（税抜 ¥3,500-）

当日参加できない場合は後日録画したものを視聴できます

● 時間 13:00～14:45

● 持ち物 持参をおすすめする書籍があります
必ずホームページをご確認ください

講師：豊泉真知子・林真一郎



（一社）日本フィットセラピー協会 直営校 / （一社）日本ハンドケア協会 直営校

Sophia Phytotherapy College

東急東横線 自由が丘駅 徒歩3分

お申込、お問い合わせはこちらから

☎ 03-3722-0004 🌐 <https://sophia-college.jp>

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-41-12ソフィアビル

